

2014年全国大会国際関連行事開催（速報）

平成26年9月10日～12日の間、第69回土木学会全国大会が大阪大学豊中キャンパスにて開催されました。その中で、国際関連のセッションやイベントがいくつか開催されましたのでご紹介いたします。

1. 第16回インターナショナル・サマーシンポジウム開催

2014年9月10日に、大阪大学豊中キャンパス豊中総合学館において、第16回インターナショナル・サマーシンポジウムが開催されました。サマーシンポジウムは、土木学会国際センター留学生グループによる留学生支援活動の一環として実施されています。全国大会において、英語での研究成果の発表の機会を設けることにより、日本に滞在中の留学生・エンジニアを中心に、国際交流と相互理解を深めることを目的とし、今年も全国大会年次学術講演会国際セッションとして開催しました。なお本シンポジウムは、公益信託「土木学会学術交流基金」の助成を受けて実施されました。

今回は、国際セッションとして投稿された65編の論文が合計11のセッションで発表されました。また、今年 Study Tour Grant により来日した、3名の若手技術者および学生にも発表していただきました。

国際セッション会場は各会場とも多数の聴講者があり、活発な議論がなされ参加者の間で有意義な情報交換ができました。サマーシンポジウムに引き続き、夜には土木学会創立100周年記念事業である国際若手技術者ワークショップのプログラムである Ice Breaking が開催され、参加者同士の活発な交流により、国際交流と相互理解はいつそう深められました。



報告の様子

【記：国際センター】

2. 国際センター主催研究討論会

「日本の留学で学んだことー海外で活躍する元留学生からのメッセージ」の開催

2014年9月10日に、大阪大学豊中キャンパス全学教育推進機構において、国際センターの企画による研究討論会「日本の留学で学んだことー海外で活躍する元留学生からのメッセージ」を開催しました。

今回は、話題提供者として、今年土木学会名誉会員を授与された李 東郁・土木学会韓国分会長、釜慶大学名誉教授と、土木学会国際活動協力賞を受賞した柯 武徳・土木学会台湾分会幹事長、正修科技大学助教授をお招きし、お二人の日本への留学時代のご経験や、留学生に対するアドバイスをまじえてお話いただきました。話題提供後は、現役の留学生や元留学生であり、日本で活躍する若手技術者に参加いただき、座談会を実施しました。



座談会の様子

【記：国際センター】

3. 国際若手技術者ワークショップを開催

留学生グループでは、100周年事業実行委員会国際部会と共同で、国際若手技術者ワークショップを土木学会全国大会（大阪府豊中市）にて9月10～13日に開催しました。タイトルを Facing the Challenges of Our

Future Society とし、参加者が 2050 年の未来社会を予測し、そこでの土木技術者や自身の役割について議論しました。詳細報告は次号（国際センター通信第 25 号）に掲載予定です。



参加者集合写真

【記：国際センター】

4. 平成 26 年度土木学会スタディーツアーグラント開催

土木学会は学術交流基金を活用し、海外協定学会の推薦を受けた優秀な学生や技術者を毎年日本に招聘しています。今年度は Si Thu Win 氏（ミャンマー）、Engin Nacaroglu 氏（トルコ）、Ankhubayar Ulziidiidermaa 氏（モンゴル）の 3 名が 9 月 7 日から 9 月 15 日まで日本に滞在し、施工現場（NEXCO 東日本発注の橋梁および道路、NEXCO 西日本発注の道路）や研究所（(独)土木研究所、鹿島建設技術研究所）を見学、土木学会全国大会（サマーシンポジウムで発表）に参加しました。3 名とも日本の土木技術に深く感銘した様子で日本の最新技術をさらに勉強したいと将来の抱負を語っていました。



NEXCO 東日本 新葛飾橋工事視察



NEXCO 西日本 茨木北インターチェンジ工事視察

学術交流基金管理委員会スタディーツアー WG: 和田一範 (国交省)、高木泰士 (東工大)、鈴木泰之 (建設技術研究所)、川内哲 (大林組)、上野成三 (大成建設)、柳川博之 (土木学会) (敬称略)

【記：学術交流基金管理委員会スタディーツアー WG 上野成三】